



Photo：昨年の下館新能から

# 下館新能

筑西市誕生記念 第1回筑西市

▼とき 10月8日(土)・9日(日) 午後6時開演

▼ところ 筑西市民会館

**8日(土)**

能楽…半部……………観世榮夫ほか  
 狂言…口真似……………野村万之介ほか  
 能楽…土蜘蛛……………観世榮夫ほか

**9日(日)**

能楽…井筒(物著)……………梅若吉之丞ほか  
 狂言…佐渡狐……………野村万作ほか  
 能楽…小鍛冶(黒頭)……………梅若吉之丞ほか



■入場料 (全席指定)

A席3,000円 B席2,000円

■入場券取り扱い場所

筑西市民会館 (月曜休館・月曜日が祝日の場合は翌日休館)  
 筑西市教育委員会・関城分室 (関城支所2階)・明野分室 (明野公民館内)・  
 協和分室 (協和支所2階)

■電話予約・問い合わせ

筑西市下館新能実行委員会 (市教育委員会文化課内) TEL 22-0183

## 編集後記

昨年は「気合だ、気合だ：気合だ！」が流行語になりましたが、気温30度を超える真夏の炎天の下で2日間開かれた『どすこいペア』。関城のみなさんの「気合」を肌で感じました。1村1品運動、まさにそのとおりで、まちおこしに大いに役立っていました。(も)

あらゆる石に一本の線を彫るユニークなアーティスト、平塚健一さんを取材。その作品は、市立中央図書館にも飾られています。一筆書きなので、どこから始まってどこへ続くのか、なぞるのも楽しい作品。ぜひ、見て触れて楽しんでほしいと話していました。(@)

8月24日、関東鉄道常総線の快速列車運行がスタート。原稿締め切りの関係で、紙面には試運転車両の写真を掲載しました。同線のほかにもJR水戸線と真岡鐵道真岡線が走り、全部で9つの駅を持つ筑西市。鉄道の要衝として更なる発展が期待されます。(∞)



翼を広げ大空を飛ぶ白鷺のような、美しい花を咲かせるサギソウ。ラン科の多年草。